

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	津山市地域交流センター
(2) 指定管理者	所在地 津山市山下30-9 名称 津山街づくり株式会社 代表者 代表取締役 菅田 茂
(3) 公の施設の所管部署	産業経済部経済振興課
(4) 指定期間	平成25年4月1日～平成30年3月31日
(5) 評価対象期間	平成25年4月1日～平成26年3月31日

2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	81,611人(前年度 88,922人)
(2) 事業の内容	・カルチャープラザ等運営事業 ・当該施設を利用した各種イベントの開催

3 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額 43,088千円(前年度39,341千円) 利用料金収入 8,811千円 指定管理料 28,850千円 自主事業収入 5,427千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額 41,074千円(前年度39,272千円) 主な支出 施設管理費(含人件費) 22,575千円 共益費 8,561千円 駐車場使用料 5,087千円 事業経費 4,851千円

4 総合評価結果

(1) アンケート調査等の概要	利用者へのアンケートを実施しているがサンプル数が少ないので、精度を高めるため利用者へのヒアリングと合わせて意見、要望を確認し、利用満足度を高めるための取り組みを行っている。
(2) 指定管理者の自己評価	利用者の開催相談・PR支援など利便性向上に努めたものの利用者数は前年比8.2%の減となったが、新規大型催事やアルネ内外施設との合同自主企画事業等も開催し、利用料収入は前年比3.7%の増、自主事業収入は前年比11.3%の増となった。今後も、利用促進案内、施設PR等を強化するとともに、自主企画事業の拡充と共に新たな利用形態の開拓も図っていく。また、施設内の点検、メンテナンスをこまめに行い、利用者に快適に使用していただけるよう心がけている。
(3) 市の評価	- 施設PRや自主事業の開催などにより、利用料金収入、自主事業収入ともに大きく伸びている状況であり、安定的な運営に寄与しているものと判断できる。 - 利用者数が大幅に減少していることに対応するため、今後催事の誘致に注力する等、集客の増加、施設の有効活用を図るとともに、施設の特性を生かしつつ館内の他施設や周辺商店街等と連携した取り組みを実施していただきたい。